

mitsubishi
ELECTRIC

Changes for the Better

設備用パッケージエアコン

新商品リーフレット

「ユニット内部を洗淨できる構造」

「ダイレクトドライブ方式」

ファシレアDD

ユニット内洗淨可能タイプ新登場!!



しあわせをシェアしよう。

「ダイレクトドライブ方式」×「ユニット内

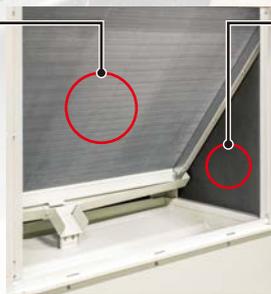
ユーザー様ご自身の手でもっと清潔に!

ユーザー様へのポイント1

ユーザー様作業区分

フラットな形状の熱交換器フィン採用と撥水性断熱材採用

熱交換器に切り起こしのないフラットなフィンを採用し、粉塵の目詰まりの抑制、洗浄性の向上につなげています。

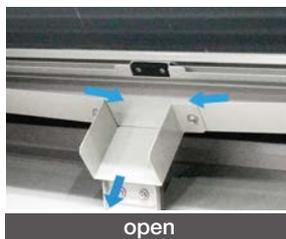
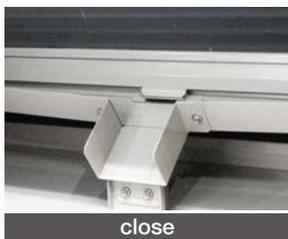
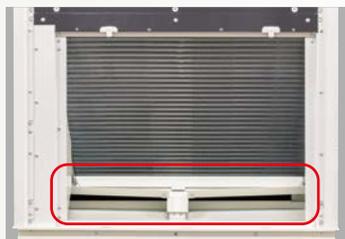


ユニット内部にはポリエチレン素材の撥水性断熱材を使用。水洗いをして劣化しにくく、水洗い後の水滴の拭き取りが容易です。

ユーザー様へのポイント2

洗浄性を高める熱交換器清掃カバーの設置 **NEW**

熱交換器二次側(奥側)にたまってしまふ粉塵は、熱交換器の洗浄時に可動式の清掃カバーを開けることで、簡単に洗い流すことができます。



ユーザー様へのポイント3

ドレンパンの排水性向上 **NEW**

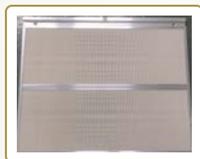
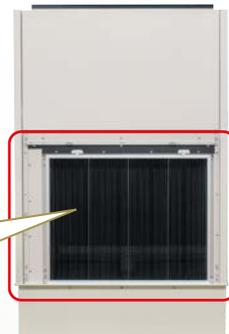
中央排水構造のドレンパンの採用により、洗浄水やドレン水の排水性を向上しています。また、排水口のサイズを従来の当社標準製品から拡大しています。



ユーザー様へのポイント4

粉塵侵入を低減する吸込口構造 **NEW**

ユニット本体側にフィルターを設置する気密性に配慮した設計で、ユニット内部への粉塵の侵入を防ぎます。また、プレフィルターは水洗いが可能なPPハニカム素材を採用しています。



さらに、吸込側へ設置可能な中・高性能フィルター(別売部品)を新規にラインアップ設定しております。

注: 本ユニットは、ユーザー様が洗浄可能な範囲とメンテナンス業者様のみが洗浄可能な範囲に分かれています。詳細は取扱説明書に従ってください。

洗浄可能」で清潔、安全、長持ち。

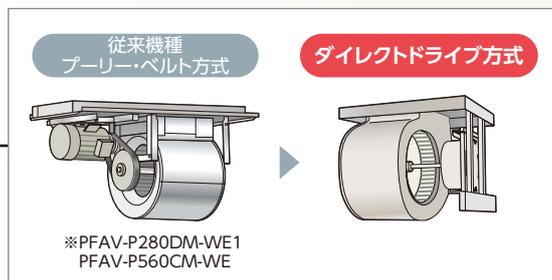
メンテナンス業者様の作業をもっと効率的に！

メンテナンス業者様へのポイント①

メンテナンス業者様作業区分

ファンモーターとシロッコファンを直結構造としたダイレクトドライブ方式の採用 **NEW**

室内ファンモーターとシロッコファンを直結とするダイレクトドライブ方式を採用することで、プーリーとVベルトのメンテナンスが不要となりました。また、Vベルトを使用していないため、運転に伴う摩耗粉などの異物飛散リスクを低減しています。



メンテナンス業者様へのポイント②

静風圧設定の簡易化 **NEW**

リモコンから室内ユニット送風機の回転数を変更することで簡単に風量と静圧の設定が可能です。現地状況に応じて、静風圧部品変更なしで簡単に設定することができます。

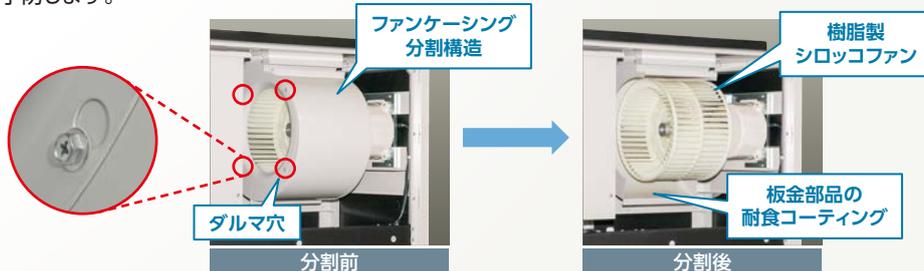
	プーリー・ベルト方式	ダイレクトドライブ方式
静風圧設定	<p>プーリー・ベルト (別売部品) 交換による設定*</p>	<p>リモコン設定 (標準品) による設定*</p> <p>柔軟性 アップ</p>

*静風圧条件によっては高静圧モーターへの交換が必要です。

メンテナンス業者様へのポイント③

作業性を高める室内ユニットファン周辺部の構造 **NEW**

ファンを丸洗いしていただけるよう、ファンケーシングに分割構造を採用しております。またダルマ穴を使用することでファンケーシング脱着の作業性にも配慮しております。さらにファンケーシングなどの板金部品には耐食コーティングを実施し、樹脂製シロッコファンを採用することでサビの発生を予防します。



*耐食コーティングを実施していますが、腐食や発錆に対して万全ではありません。設置する場所や設置後のメンテナンスに十分ご注意ください。

設備用 パッケージエアコン

■仕様表

		2023年6月発売予定		2023年6月発売予定	
セット形名(馬力)		PFHV-P280DMWJ(10HP)		PFHV-P560DMWJ(20HP)	
室内ユニット形名		PFAV-P280DMWJ		PFAV-P560DMWJ	
室外ユニット形名		PUHV-P280DMJ2		PUHV-P560DMJ2	
電源		三相200V(50Hz/60Hz)		三相200V(50Hz/60Hz)	
能力(最大)	冷房	25.0(28.0)		50.0(56.0)	
	暖房	28.0(31.5)		56.0(63.0)	
消費電力	冷房	7.64		17.6	
	暖房	8.49		17.6	
APF2015		4.5		3.6	
SHF		0.77		0.76	
室内ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1900×1200×635	1900×1720×635
	質量		kg	239	337
	風量		m ³ /min	70	165
	機外静圧		Pa	30	30
電動機出力			kW	1.2	1.2×2
室外ユニット	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1650×920×740	1650×1750×740
	質量		kg	180	317
	圧縮機	形式		全密閉型	全密閉型
		出力	kW	6.46	12.7
	送風機電動機出力		kW	0.46	0.55×2
	騒音PWL		dB	80.5	85.5
	配管取出し方向			前、下	前、下
延長配管	実長	m	165	165	
	相当長	m	190	190	
高低差内外	(外上)/(外下)	m	50/40	50/40	
接続配管径	液/ガス	mm	φ9.52/φ22.2	φ15.88/φ28.58	
運転可能外気温度範囲		°C	乾球 -15°C~43°C/湿球 -20°C~15.5°C	乾球 -15°C~43°C/湿球 -20°C~15.5°C	
高圧ガス保安法区分			—	—	

注1. 冷房能力および運転特性はJISB8616:2015およびJRA4002:2016による条件(冷房時:室内側吸込空気乾球温度27°C湿球温度19°C、室外側吸込空気乾球温度35°C、暖房時:室内側吸込空気乾球温度20°C、室外側吸込空気乾球温度7°C湿球温度6°C)での値です。()内は最大値を示します。
 注2. 騒音値はJRA4065:2013「パッケージエアコンディショナーの音響パフォーマンス試験方法」に基づいた値です。実際に据え付けた状態での測定値と、周囲の騒音や反響などを加え、表示値より大きくなるのが普通です。
 注3. 組み込む別売部品の種類によっては電気特性、風量、機外静圧、騒音値等が変化する場合があります。詳細は設計工事マニュアルをご覧ください。
 注4. 室外ユニットP280形の延長配管径については、配管長90m以上の場合には液管径をφ12.7としてください。
 注5. 室内ユニット周囲空気が露点温度23°C以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。
 注6. 本製品を長く安心してお使いいただくためには定期的な保守・点検が必要です。各部品の点検・保全周期については日本冷凍空調工業会発行のガイドラインを参考にしてください。
 注7. データモニタリング機能は、2リモコンでご使用の場合「主」に設定したリモコンのみご使用できます。
 注8. 洗浄・消毒に、酸・アルカリ性の薬剤は使用できません。洗浄方法の詳細は取扱説明書をご覧ください。
 注9. 清掃後、ドレンパン部の水をきれいに拭き取り、よく乾かしてください。
 注10. 冷房時、室外ユニット吸込温度が-15°C~-5°Cでご使用の場合、安定した運転のために防雪フード(吹出ダクト・吸込ダクト)を取付けてください。また、ユニット周囲を防雪ネットや防雪柵で囲うなどの対策を行ってください。
 *納入仕様書などの電流値の冷房または暖房の値が20Aを超える空調機は、「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」対象機器です。回路種別番号、換算係数は機種により異なりますので、営業窓口までお問い合わせください。

●:標準仕様 ▲:別売部品で対応可 ■:受注対応可

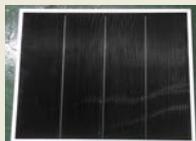
■室内ユニット別売部品・受注対応表

室内ユニット	10馬力	20馬力
室内ユニットドレンパンSUS仕様	■	■
静風圧変更(高静圧モーター変更)	▲	▲
カチオン電着塗装(熱交換器) ※1	■	■
特殊銅管カチオン電着塗装(熱交換器) ※1	■	■
冷房機能限定仕様	●	●
除湿運転仕様	■	■
風路部品	プレナムチャンバー	▲
	吹出ダクト用相フランジ	▲
ドレン	▲	▲
エアフィルター	ドレン配管接続キット	▲
	予備フィルター	▲
	ハイメッシュフィルター	▲
	ロングライフフィルター ※2	▲
	中性能フィルター ※2※5	▲
	高性能フィルター ※2※6	▲
	フィルターユニット ※2	▲
電気部品	オイルフィルター ※3	▲
	オイルフィルターユニット ※3	▲
	プレナム吹出口フィルター ※4	▲
	プレナム吹出口フィルター用フランジ ※4	▲
	リモコン	▲
サーミスタ取付位置変更部品	▲	
M制御遠方表示キット	▲	
霜取運転出力コネクタ	▲	

※1. 弊社指定MAC冷熱品改造センター(関東)にて対応。または冷熱システム製作所内で受注対応いたします。
 ※2. ロングライフフィルター・中性能フィルター・高性能フィルターはフィルターユニットとの併用が必須です。
 ※3. オイルフィルターはオイルフィルターユニットとの併用が必須です。
 ※4. プレナム吹出口フィルターはプレナムチャンバーとプレナム吹出口フィルター用フランジとの併用が必須です。
 ※5. JIS B 9908:2011 粒子捕集率(粒径別)0.7μm:65%、0.4μm:60%(比色法65%相当)
 ※6. JIS B 9908:2011 粒子捕集率(粒径別)0.7μm:90%、0.4μm:80%(比色法90%相当)

■フィルター選定のポイント

- ・プレナム吹出口フィルター
…ほこりやちりの飛散を防ぎたいお客様におすすめ!
- ・ハイメッシュフィルター
…フィルターでしっかり粉塵をキャッチしたいお客様におすすめ!
- ・ロングライフフィルター
…フィルターそじの回数を減らしたいお客様におすすめ!
- ・中・高性能フィルター
…機内への粉塵の侵入を防ぎたいお客様におすすめ!
- ・オイルフィルター
…油煙環境に室内ユニットを設置したいお客様におすすめ!



ロングライフフィルター



中性能フィルター

■フィルター選定目安表



※1. JIS B 9908:2011 粒子捕集率(粒径別)0.7μm:65%、0.4μm:60%(比色法65%相当)
 ※2. JIS B 9908:2011 粒子捕集率(粒径別)0.7μm:90%、0.4μm:80%(比色法90%相当)
 ※3. 使用環境・設置状況により、効果が異なりますのであくまで目安としてお使いください。